



19-20年度スローガン「福島ロータリープライド」 <http://www.f-rotary.com/>

ROTARY CLUB of FUKUSHIMA 福島ロータリークラブ会報

vol.
3

2019.7.25 thu



福島ロータリークラブ
Facebook ページ

<https://www.facebook.com/fukushimarotary/>



【例会場】福島市上町 4-30
クーラクーリアンテ サンパレス
【例会日】木曜日 12:30
【事務所】福島市栄町 5-1
ホテル辰巳屋 7F
【TEL】024-524-1010
【FAX】024-524-1011
【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp
info@f-rotary.com

会 長 あ い さ つ



2019-20 年度会長
右近 八郎

本日は、ようやく通常の例会になります
が、本日のプログラムで「会長スピーチ」が
予定されていますので、会長あいさつは簡
単なものにさせていただきます。

先日7/13(土)、郡山ユラックス熱海に
てクラブ研修リーダーセミナーが開催さ
れ、佐藤英典クラブ研修リーダーとともに
参加してきました。セミナー報告は来週の
例会にてお願いしていますが、ここでは簡
単な感想を述べさせていただきます。

今回のセミナーでも、ロータリーの目
的、特に職業奉仕に関する講演がありまし
たが、これまでの多くの講演で、難しい日
本語で示された「ロータリーの目的」を、わ
かりやすい日本語と日本社会に適合する解
釈で提示するという講演内容になっていま
す。多くのロータリーを極めた講師による
講演が、このような形をとること自体が不
思議です。どうして毎回同じような問題提
起がなされるのでしょうか。

この根本原因は、我々日本人の職業感が
欧米発の職業感と何か根本的に異なって
いて、「ロータリーの目的」がその職業とい
う分野で倫理観を展開しているため、日本
人は黙ってられないからだと考えていま
す。本日のプログラム「会長スピーチ」で
は、このあたりの話をしたいと思っていま
すので、まずはその予告編ということで、
会長あいさつとさせていただきます。

例 会 ス ケ ジ ュ ー ル

8月10日(土)
「大相撲観戦」「納涼夜間例会」石林

8月15日(木) 祝日の週の為休会

8月22日(木)
12:30 ~ クーラクーリアンテ サンパレス

ガバナー補佐訪問

8月29日(木)
12:30 ~ クーラクーリアンテ サンパレス

通常例会

本日のプログラム

日銀短観

日本銀行福島支店 支店長 中山 興 会員

会長スピーチ 右近八郎 会長

例 会 次 第

開会点鐘 右近八郎 会長

ロータリーソング

「福島ロータリークラブの歌」

ソングリーダー 岡田新也 会員

米山功労者伝達

第2回マルチプル 今井理基夫 会員

ポールハリスフェロー伝達

PHF + 1 安藤錬雄 会員

入会式

東日本電信電話(株) 福島支店長 山貴昭子 様

東日本旅客鉄道(株) 福島駅長 佐々木高敏 様

㈱小原材木店 代表取締役 小原孝嗣 様

会長あいさつ

右近八郎 会長

幹事報告

菅沼 裕 幹事

各委員会報告

■広報小委員会

「友」7月号紹介 箱岩 偉 委員長

■例会小委員会 ニコニコBOX担当

佐藤英典 委員

本日のプログラム

開会点鐘 右近八郎 会長



岡田新也 会員



箱岩 偉 会員



佐藤英典 会員

幹 事 報 告

例会変更のお知らせ

●福島西RC、7/29(月)の例会は納涼夜間会
となりまして「杉妻会館」に変更してあり
ます。

●福島北RC、7/30(火)の例会は太田直前会
長慰労夜間例会となりまして18時30分
よりクーラクーリアンテ サンパレスに変
更しております。

●8月理事会は8/1(木)18時よりクー
ラクーリアンテ サンパレスにて開催いた
しますので、役員理事の皆さま宜しくお願い
致します。

その他のお知らせ

●今年度上期会費納入のご案内を差し上げて
おります。ご確認の上、早めの納入をお願
い致します。

●本日より後方にて、米山奨学金寄付、ロー
タリー財団寄付の受付を開始致しました。
ご協力宜しくお願い致します。

●7月ロータリーレートは1ドル108円と
なりますのでお知らせ致します。

●8/10(土)開催される大相撲福島場所の子
ケツ交換を後方にて致しておりますので、
ご予約された会員は例会終了後お立ち寄り
ください。

日銀短観

景況点描：日本経済と福島経済（2019年7月）

日本銀行福島支店 支店長 中山 興 会員



世界経済

世界経済は、総じてみれば緩やかに成長していますが、このところやや減速しています。世界貿易量の伸びは鈍化していますし、グローバルな製造業の業況感も、悪化に転じました。その背景は、米国の保護主義的な貿易政策による米中貿易摩擦、中国の景気減速、世界的な情報関連財の生産調整、長引く英国のBrexit問題への懸念などに伴う不透明感です。

先行きについては、今年度後半以降、緩やかに持ち直していく見込みにありますが、中国の景気刺激策が、従来の設備投資重点型から、減税・社会保険料軽減型に変化しているため、その効果発現時期および効果の大きさが見極めにくくなっていることに加え、情報関連財の調整進捗に後ズレ懸念の声も出てきており、予断を許さない状況にあると思います。

日本経済

上述のような下振れ圧力を抱えつつも、緩やかな成長を続ける世界経済を背景に、日本経済は、引き続き、基調としては緩やかな拡大が続いています。内需面では、企業収益が総じて高い水準を維持するも、設備投資も能力増強投資や省力化投資など、幅広い分野で増加傾向を持続しています。個人消費も、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、緩やかに増加しており、企業・家計の両部門で所得から支出への前向きな循環が働くという、景気拡大の基本的なメカニズムは維持されています。

ところで、そうした景気の緩やかな拡大が続いている一方、多くの国民の皆さんがあまり景気の良さを実感できていないのはなぜでしょうか。その鍵は、マクロの所得環境とミクロの一人当たり平均賃金のギャップにあります。

わが国が直面する少子化と高齢化の影響から、2000年以降約20年間で15～64歳の男性労働力人口は410万人減少しました。その労働力不足を埋めるべく、女性と高齢者の活用が図られた結果、15～64歳の女性労働力人口は86万人増加し、65歳以上の高齢者労働力人口は377万人増加しました。このように女性と高齢者の活躍が増えた結果、この20年間で労働力人口は▲410万人+86万人+377万人=53万人増加しました。

この間、マクロの所得環境をみると、特に2016年以降、名目賃金は前年比+1%程度伸びています。しかも、所定外給与やボーナスだけでなく、ペアや定昇を背景とする所定内給与が着実な伸びをみせています。しかしな

がら、マクロの名目賃金の伸びよりも、労働力の増加のほうが上回っていますので、ミクロの一人当たり平均賃金、有体にいえば、一人当たりの「取り分」がほとんど増えていないということになります。これが景気回復の実感のなさの根底にあるのではないかと思います。

福島経済

福島経済は、総じてみれば、緩やかな回復が続いています。震災・原発事故からの復旧進捗に伴う趨勢的な公共工事の減少と住宅着工の減少が続く中、中国経済減速や米中貿易摩擦、世界的な情報関連財の生産調整の影響はセクターショックにとどまり、内需の回復モメンタムは維持されています。

6月短観では、最近では5ポイント悪化して+1となり、先行きについても更に1ポイント悪化して0となりましたが、売上高や経常利益、設備投資など実数面では堅調さが目立っています。今回の福島短観の特徴は、①景況感と実数面にやや乖離が目立っていること、②堅調な大企業と弱めの中小企業というコントラストが一段と明確化していること、の2点です。

生産面では、中国経済減速や米中貿易摩擦、世界的な情報関連財の生産調整の影響が、産業用機械や電子部品関連の一部に減産の動きとして顕現化しています。もっとも、中国向けが減少している産業用機械や生産用機械でも北米向けや中国以外の新興国向けが堅調であるほか、自動車部品など輸送用機械の一部先や、化学などは高水準の生産を維持していますので、福島県の生産全体では高水準を維持しています。この結果、短観調査における設備投資は、昨年度に2割増と大きく増加した後、今年度も小幅プラスと高い水準の計画となっています。

労働市場も引き締まった状態が続いており、完全失業率は2%台前半と1997年以降最低水準圏内で推移していますし、有効求人倍率も1.53倍（5月）とバブル期以降では最高水準圏内で推移しています。こうした雇用環境を背景に、個人消費は堅調に推移しており、大型連休中の県内主要観光地の入込みが好調であったほか、大型小売店や家電販売、自動車販売も堅調を維持しています。

もっとも、このところ企業倒産が、依然として水準は低いものの、相応にみられている点は、实体经济への影響はもとより、信用コストの増加を通じて金融機関にもダメージを及ぼす点で要注意です。また、中国経済の減速や情報関連財の生産調整がどこまで続くか不透明感が高い状況にありますので、先行きについては相当警戒感を持ってみていく必要があります。日本銀行福島支店としては、緩和的な金融政策の効果と副作用を慎重に見極めつつ、先行きへの懸念やリスクを踏まえて、福島の金融経済を金融面からしっかりサポートして参る所存です。

会長スピーチ

右近八郎 会長



先ほど会長あいさつで予告しましたが、「会長スピーチ」をさせていただきます。

まず前振りとして、大分前に「私のひとこと」で投稿しましたフランシス・ベーコン（英国、1561年－1626、思想家）の名言についてお話しします。

それは「読むことは人を豊かにし、話すことは人を機敏にし、書くことは人を確かにする。」というものです。原文は“Reading maketh a full man, conference a ready man, and writing an exact man.”となっており、この中で「話す」というのはspeakingではなく conferenceとなっており、機敏というのがready manの訳になっています。ロータリーでも常に問題になる日本語訳の問題がここにもあり、ready manというのは日頃の鍛錬や心構えが必要というニュアンスです。皆さんも大勢を前にして話す機会が多いことと思いますが、「話す」にはそれなりの準備と覚悟が必要ということでしょう。

さて本題に移りますが、本日はロータリーの職業奉仕とはという話題ではなく、ロータリーではなぜ職業奉仕が議論を呼ぶのかという話をしたいと思います。

まず唐突ですが、国家体制の下での人間の行動原理の話をしします。これは私が参加していたフォーラム21という異業種交流会で仕入れたものです。話せば長いのですが、結論は「人は愛情、恐怖、交換のどれかのために行動を起こす」というものです。ちょっと待てよという方も多いことかと思いますが、案外当たっているなという結論です。ただし恐怖という用語は義務や強制を含むものです。この三つの軸は、規範として愛情は保守主義、恐怖は全体主義、交換は自由主義にそれぞれ対応し、さらに原理として愛情は家族原理、恐怖は国家原理、交換は市場原理に対応しています。さて日本という国家はこの三軸のどれに対応するのでしょうか。古来「和をもって貴しとなす」というお国柄であり、日本人の行動原理は基本的に愛情（保守主義、家族原理）であったと考えるのが一般的ですが、近代化の道を進むとともに、特に経済的自立を優先させた戦後教育の結果として交換（自由主義、市場原理）に遷移しつつあるようです。

このことを違う用語で表現してみようと思います。経済面に主眼を置いた社会分析で、ゼロサム社会という用語が脚光を浴びたことがあります。これは交換が支配的な行動原理である社会です。ゼロサム社会に対してプラスサム社会、あるいはマイナスサム社会という用語があります。ゼロサム社会が交換に、プラスサム社会が愛情に、そしてマイナスサム社会が恐怖に対応しています。そ

れぞれの社会での職業感を表現すると、ゼロサム社会での職業感は「労働は報酬のため」、プラスサム社会では「労働は世のため他人のため」、マイナスサム社会では「労働は命を守るため」でしょうか。プラスサム社会である日本という国の職業感は古くから「労働は世のため他人のため」だったのです。

日本では国民の三大義務は労働、納税、教育であり、その第一が労働で、職業は人生そのものであり、こと職業に関する倫理観については熟成された暗黙の確固たる思いがあります。ロータリークラブが掲げる職業奉仕という金看板は、プラスサム社会の日本人が無意識に嵌る陥穽（落とし穴）なのです。ゼロサム社会の解釈による職業奉仕を不自然に感じるのがプラスサム社会の日本人の自然な反応であり、なぜそんな無理な解釈をしなければならないのかが納得できないのです。

まとめになります。日本人の倫理、特に職業に関する倫理は成熟したものであり、RIが提唱する職業奉仕が何ら特別なものではないという主張が本日のスピーチの結論になっています。結局、ロータリアンのみなさんは、RIの用意した土俵の上で、奉仕の心と自己研鑽の覚悟を持って、ロータリー活動をエンジョイしていただきたいということです。本日は、これまでそしてこれからも繰り返されるだろう「職業奉仕とは何か」という問い掛けに対する日本人としての一つの回答ということで、本日の会長スピーチとさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

「ロータリーの友」7月号のご紹介

広報小委員会 箱岩 偉 委員長



■特集 P8～19 (横書き)

「今までの人生はこれからの序章」のタイトルでマーク・ダニエル・マローニー RI会長の紹介記事が掲載されています。

■ガバナーの横顔 P23 (横書き)

RI第2530地区 芳賀裕ガバナーの紹介記事が掲載されています。

私|の|ひ|と|こ|と

～「利他」の心でド真剣に～

稲盛和夫氏が経営者の「学びの場」として主宰してきた「盛和塾」が今年いっぱい解散します。

福島でも震災の年に稲盛氏本人が来福され開塾し、被災した多くの経営者に困難から立ち上がるエネルギーを稲盛経営「フィロソフィー」として示し、導いてくださいました。その理念は最澄の教えにある「妄己利他（もうこりた）」という自分のことよりまずは他人（ひと）の役に立つ「利他」の心です。

昨今、「OO FIRST」という自己優先を当然とする風潮がまかり通る世の中にあっては正反対の考え方です。そして、その『利他の循環』が社会を真に豊かにする」と教えています。

私も稲盛経営にならい「利他」の心でド真剣に会社を経営していきたいと思えます。



小林仁一 会員

米山 功 労 者 伝 達



第2回マルチプル

今井理基夫 会員

ポールハリスフェロー伝達



PHF + 1

安藤 錬雄 会員

新 入 会 員



東日本旅客鉄道(株)
福島駅長

さ さ き たかとし
佐々木高敏 様

(紹介者：後藤忠久 会員)

東日本電信電話(株)
福島支店長

やまぬき あきこ
山貫 昭子 様

(紹介者：阿久津肇 PG)

有小原材木店
代表取締役

おばら たかし
小原 孝嗣 様

(紹介者：山崎高寛 会員)

ニコニコBOX 報告 本日のニコニコBOX投入額 33件 ¥69,000 累計 ¥272,000 [報告] 佐藤英典 委員

右近 八郎 会長

本日は通常例会の第1回目です。会長スピーチをさせていただきますのでよろしくお願い致します。

菅沼 裕 幹事

第3回目の例会となります。残りはたった37回です。頑張ります。新会員3名様の入会を心から歓迎致します。

小原 孝嗣 会員

新会員の小原です。末長く宜しくお願いします。

佐々木 高敏 会員

今日からお世話になります。よろしくお願い致します。

山貫 昭子 会員

今日からお世話になります。よろしくお願い致します。

阿久津 肇 PG

新しく入会された山貫様、佐々木様、小原様の入会を祝して。

内池 浩 会員

いよいよ福島の夏。

大関 静江 事務局員

月曜日の有志コンペではからずも優勝させて頂きました。パートナーの皆様お世話様になりました。ありがとうございました。

小原 敏 会員

来たる8月8、9日にインターアクトクラブ年次大会があります。本RC所属の福島東稜高校がホスト役を務めます。会員の皆様のご参加を心待ちにしています。

後藤 忠久 会員

本日より新福島駅長の佐々木高敏様が入会されます。

皆様、どうぞよろしくお願い致します。

後藤 洋伸 会員

7月22日の有志ゴルフコンペでは大関事務局員「優勝」お

めでとうございます。今年は新聞に何回載るか楽しみです。ね！頑張ってください。

加藤 義朋 会員

来週例会はモンゴルの世界米山学友会に出席しています。

茂田 士郎 会員

私と家内は先週、免許センターに行って50数年間慣れ親しんできた自動車運転免許証を返納して来ました。昨今の高齢者の運転による交通事故死亡事件の反応が大きく、嫁に行った娘たちからも早く運転免許の返納をしたら、と矢のような催促があったからです。3年前に購入したトヨタのアクアも使わないで置いてくのは目障りだと娘たちに話したら、早速仙台に住む3女が持って行きました。3台分を止められるカーポートは淋しく空いていて、時々通りかかった車が方向転換をして戻って行きます。

丹治 正博 会員

今年も恒例の夏祭りの季節が巡ってきました。人形に今年上半期の災厄を託して、茅の輪をくぐってお参りすれば、今年後半に向けて気力・体力が充実すると信じられています。7月30日の夕方にはご家族そろってお参り下さい。

中山 興 会員

久しぶりに青空を見ることができました。やっと梅雨が明けて、福島らしい暑い夏が来たのではと思います。すっかり暑くなって桃の糖度上昇とともに気分もアガってきています。

望月 大輔 会員

中山支店長、今日は勉強させていただきます。

クラブ会員より 幡 研一／渡邊又夫／中川宏生／坪井大雄／田沼紀美子／佐藤良智／相良元章／古俣 猛／児玉健夫／五阿弥宏安／佐藤美奈子／黒崎浩一／加納武志／岡田新也／大沼健次／安藤健次郎／佐藤英典